

よつば通信



平成 31 年 2 月 20 日
魚津市立よつば小学校 2 月号
URL www.yotsuba-e.tym.ed.jp

子供たちの育ち ～4年生のスキー学習会から～

校長 宝田 哲

4月の開校以来、育てたい子供の姿を「かしこく やさしく たくましく」と掲げ、様々な教育活動に取り組んで来ましたが、何事も一朝一夕に成果が出るものではありませんが、本校の子供たちがどのように育っているかが気になるところです。

先日、4年生のスキー学習会に付き添ったのですが、「育っているなあ」という面と「うーん、まだまだ」という面の両方を見ることができました。



以下、実際に私が目にした子供たちの様子をご紹介します。

- ①グループから遅れ気味で、転倒してしまった友達に、「慌てんでいいよ～。ちゃんと待つとるからね。」と笑顔で声をかけ、ストックを拾ってあげる仲間たち。
→雪まみれになりながらも、「ごめん。ありがと。」というお礼の言葉を発する姿も自然で素敵でした。
- ②「次は、1時から練習やから、みんな、あそこに集まってね。」と、丁寧に声をかけ、リーダーシップを発揮する班長さん。→「はーい」「OK～」「りょうか～い」と元よく反応する仲間の爽やかさに。こちらも笑顔になりました。
- ③昼食のカレーライスを食べ終えて、「ごちそうさま。おばちゃん、おいしかったよ。」と挨拶するAさん
→休憩所の女将さんに「礼儀正しいね～」とお褒めの言葉をいただきました。
- ④インストラクターの先生に「すごい楽しかった。ありがとう。来年も教えて。」と自分の気持ちを伝えるBさん。→「素直なよい子たちで、うれしかった。」とのコメントをいただきました。

その一方で、こんな子供たちもいました。

- ①教員の前に足を投げ出して、「スキー靴を履かせろ」と言わんばかりのCさん。→「自分でできるようになるのが今日の勉強だよ。パンツは自分で履くよね。」と伝えると、面倒くさそうにしながらも頑張る姿が見られました。
- ②スキーを束ねるバンドの使い方がわからず、「わからん。できん。」と癩癩を起こしてバンドを投げ捨てるDさん。→「落ち着いて思い出してみられ。家でちゃんと練習してきたんやろ？」との投げかけに、自分でなんとかしようと工夫し、どうにか留めることができました。
- ③歩いている時に滑って転んでしまった友達の手が体に当たってしまったのを、「こいつ、ぶん殴ってきた。頭に来た。」と怒り出すEさん。→「先生見とったけど、〇〇ちゃん滑って転んだんやよ。その時にEさんの背中に手がぶつかってしまったが……。いきなりやったからびっくりしたね。痛いところある？」と話す、「なーん。」と呟き、その場から離れていきました。

子供たちには子供たちなりの事情や言い分もあるのですが、まだまだこれから育まねばならない力が多く、その分、伸びしろもいっぱいあるなあと感じています。スキー学習会に限らず、大人の知らないところでは、もっともっといろいろな事が起こっています。今後も、私たちが目標とする「やさしく助け合う子」の育成に努めて行きたいと思います。

3月の行事予定

3	日	スポーツチャンバラ大会
6	水	委員会
7	木	ICT学習 読み聞かせ（最終）
11	月	地区児童会
12	火	ICT学習
18	月	卒業証書授与式
20	水	給食最終日
21	木	春分の日
22	金	修了式



少しずつ使いこなしています。

タブレットを使った学習

